

「精神障害者の地域移行の推進」に関する検討について（案）

1 概要

- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、前半テーマである「地域における支援体制のあり方」では、重い障害があっても地域の中で生活が可能となるために必要となる支援について検討を行ってきた。
- ・今後は、後半テーマの「精神障害者の地域移行の推進」について、下記3つの小テーマを設け検討を行う。

検討順	小テーマ	検討時期
①	入院中の精神障害者の地域移行に係る事項	令和6年12月～令和7年12月
②	地域移行関係者の人材育成に係る事項	
③	住まいの確保と居住支援に係る事項	令和8年1月以降

2 入院中の精神障害者の地域移行に係る事項/地域移行関係者の人材育成に係る事項の検討について

(1) 精神障害者の地域移行の現状

- ・精神障害者の地域移行については、これまで精神科病院との連携のもと、精神保健福祉総合センターによる地域総合支援事業やピアスタッフと連携した普及啓発活動、保健所や障害者相談支援事業所による個別支援、障害者総合支援法に基づく個別給付サービスである地域移行支援等により取り組んできた。
- ・これまでの取組みにより、精神科病院から退院し、地域生活に移行できた者は一定数いるが、未だ多くの精神障害者が精神科病院への入院を余儀なくされている。また、新たに入院する者のうち1割は1年以上の長期入院に移行すると言われており、いわゆるニューロングステイを予防するための早期の介入が求められる。
- ・本市におけるこれまでの取組みの蓄積から、審議会では次項に示す視点に基づき検討を進めていくことが必要であると考えます。

(2) 審議会における検討の視点

- ・当事者が地域に安心して移行していくための支援者との関係構築の進め方
- ・家族等が安心して当事者を地域に迎え入れることができるための支援
- ・当事者の地域生活について、具体的にイメージを形成していくための支援
- ・当事者の地域移行に向けた支援に関するノウハウの整理・共有

(3) 検討体制

- ・審議会のもとに作業部会を設置し、具体的な検討を行う。上記検討の視点を踏まえ、作業部会の委員構成は以下の通りとする。 ※座長、副座長以外は50音順

	委員名	所属（職種等）
座長	佐藤 博俊 氏	仙台市立病院精神科（精神科医師）
副座長	石黒 亨 氏	東北福祉大学・せんだんホスピタル（精神保健福祉士）
委員	市川 洋一 氏	入院経験を有する精神障害当事者
委員	江畑 来春 氏	春日療養園（精神保健福祉士）
委員	大村 悠子 氏	太白区障害高齢課（地域支援係長・保健師）
委員	小山 悠 氏	佐々木・笠原法律事務所（弁護士）
委員	片寄 篤 氏	障害者相談支援事業所 向日葵ライフサポートセンター（管理者）
委員	川村 有紀 氏	仙台スピーカーズビューロー（精神障害当事者）
委員	後藤 美枝 氏	パーソナルサポートセンター（居住支援法人）
委員	小松 浩 氏	東北大学病院精神科（精神科医師）
委員	小松 容子 氏	宮城大学看護学群（准教授・看護師）
委員	酒井 道代 氏	宮城県立精神医療センター（作業療法士）
委員	佐々木 千鶴氏	訪問看護ステーション デューン仙台（精神保健福祉士）
委員	白取 留美子氏	仙台みどり会（精神障害当事者の家族）
委員	下村 瑞希 氏	精神保健福祉総合センター（主任・心理判定員）
委員	高橋 正佳 氏	全国コミュニティライフサポートセンター（地域生活支援拠点）
委員	千田 由花 氏	大沢広陵地域包括支援センター（機能強化専任職員）
委員	三嶋 洋一 氏	宮城県立精神医療センター（看護師）
委員	（調整中）	入院経験を有する精神障害当事者